

2022 県本部労働学校

学習と要求の秋「要求課題」「自治労連運動」 「自治体での課題」「情報発信」など議論

【県本部労働学校】9月10～11日、県本部は2022労働学校をweb併用で開催、2日間でのべ13単組28人が参加。今回の労働学校では自治労連運動の基礎（要求・運動・組織、自治体労働者論、労働基本権、自治研活動）をテーマに学びました。



第1講義では「2022賃金確定闘争に向けて—2022人勤、定年引上げ、ケア労働者処遇改善、会計年度任用職員の労働条件改善」をテーマに自治労連本部・佐賀中執を講師に学習。「22人勤の特徴と課題」「会計年度任用職員の処遇改善、誇りと怒りの“3T”アクションなどで安定した継続雇用の要求」「ケア労働者処遇改善では原資が一般財源化など、要求しなければ改善しない」「定年引上げでの制度と課題」など2022確定闘争の要求全般について発言。「コロナ危機のもと住民を守って奮闘する公務員にふさわしい賃金・労働条件の改善、それらをすべての労働者の大幅賃上げにつなげていくことが必要」「住民の命を守る、職員を守る運動を両輪としてとりくむ」など話されました。



第2講義では「2022賃金闘争をどう勝ち取るか—賃金、休暇、会計年度任用職員等、県内課題と具体的戦術」として県本部・森賀委員長を講師に、内子町での改善を紹介し「県内自治体の昇格基準表」をもとに「若いうちに次の給料表へと給与水準をあげていくことを実現する要求を」と県内自治体の昇給制度を解説して昇格基準の改善・見直しを求めようと学習しました。あわせて定年引上げでの60歳後の給与水準7割運用の手法のあり方について問題提起し、定年引上げでの改善要求を出すことを求めました。

第3講義では「自治体労働者として（民主的自治体労働者論）」をテーマに「財政分析とコロナ禍からの自治体の活性化」「現業職場（給食）の民営化」「子どもたちにもう一人保育士を」「医療職場の現状と地域医療を守る住民共同の運動」について、各部評代表や参加者から報告があり、各部評でのとりくみについても学びました。

第4講義では「見える組合活動に向けて—機関紙、組合情報、SNS等の活用」について、県本部・堀川書記次長を講師に、県本部の情報発行と県本部からの発信、組合員に届く情報のあり方などについて問題提起と意見交換を行いました。

県本部は9月10日、執行委員会をweb併用で開催し、17単組21人が参加。情勢と経過報告に続いて、秋季要求課題として、先月の執行委員会で学習した、①22人勤、②9月・12月議会での条例改正が予定される定年引上げ、③10月から一部制度変更のケア労働者処遇改善の課題とポイントを踏まえた10月県本部秋季統一要求での日程と要求内容を提案し協議。定年引上げでの課題も再度確認しました。今後のとりくみとして、大洲市職の奮闘も参考にした「ほこイカアンケート」の実施・同レポートの作成、22、23働くみんなの要求アンケートの実施、また自治労連共済キャンペーンの見直し等の質問・要望について現状を報告し、対応の方向性を協議しました。その他、スポーツ大会、10月8日四国ブロック現業学習交流集会、10月1・2日「全国自治研」、11月6日「県自治研」への参加を提起。各単組からの報告では「統一要求は

項目が多岐にわたるので項目を絞って回答を求めようか」「ほこイカアンケートには実名記載で職場状況が書かれていて、職場に入っている状況把握を検討中」「職場アンケート実施予定」「婦人部懇談会の9月中開催に向けて準備中」「定期大会へ新たな執行委員の選定も準備中」「『職場懇談会を予定』『定年引上げの学習会を9月中に実施するための準備中』『職場オルグで人勤説明とあわせてハラメントに関するアンケート実施予定』『医療従事者を理由に行動制限が厳しく課されている職員の高ストレスも高く、離職者も出ている』などがありました。



【県本部】統一要求、会計年度任用職員の処遇改善など、課題共有し協議

第548号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二

(組合員の購読料は組合費のなかに入っています)

日程

- 【9月】
 - 21 県公務員共闘会議県人事委員会要請・署名提出
 - 28 西条市職労定期大会
愛媛県自治体問題研究所
理事会・研究例会
- 【10月】
 - 1 地方自治研究全国集会 (web～2)
全労連青年部定期大会 (東京・web併用～2)
 - 3 自治労連全国代表者会議 (web)
 - 8 四国ブロック現業評議会労働学校(新居浜)
 - 14 10.14自治労連全国統一行動・現業統一行動
 - 15 県本部拡大執行委員会青年部幹事会
 - 19 宇和島市職執行委員会
 - 20 いのちまもる10・20総行動
 - 27 今治市職定期大会
 - 29 医療介護評議会定期総会
 - 30 介護関係労働者全国交流集会



大洲市職は9月2日、執行委員会を開催し7人が参加。8月中旬から配布した会計年度任用職員への「ほこイカアンケート」の回収・集約作業を行いました。アンケート

配布にあたり大洲市で働くすべての会計年度任用職員へ配布できるように入念に準備を重ねました。各課ごとの会計年度任用職員数を総務課に尋ね、その情報を基に本庁各課、保育園、公民館など出先機関も含めたすべての職場宛の配布回収用封筒を作成。組織拡大推進委員が全ての職場を訪問し手渡しでアンケートを配布。その際に「アンケートの意義、回収日」などを伝え、協力を呼びかけました。アンケート回答は配布枚数約360枚に対し

【大洲】「ほこイカアンケート」約300枚回収！ 【大要求に確信！結果返し組織化へつなごう】



294通もの回答が寄せられ、執行委員会全員で回答内容の手書き記載欄を中心に回覧してみると「低賃金や雇用不安の意見が非常に多い」「自分たちのこれまでの要求が間違っていないと確信が持てる」「要求で改善してきた部分の周知が足りないものもあった」などの意見が出されました。回収したアンケートは9月中旬をメドに集約し、秋季要求とあわせ、アンケート結果を職場に返し組織拡大にもつなげよう

8月28・29日にかけて、自治労連第44回定期大会がwebで開催され、2日間で31地方組織・10県事務所453人(愛媛代議員7人)が参加。今後3年間の運動の方向性と

憲法を地域と職場のすみずみへ 公共を住民の手に取り戻そう

1年間のたたかう方針を確立しました。「公共を国民・住民の手に取り戻そう」運動方針に基づき「いのちを守る運動」「憲法大運動」「誇りと怒りの3Tアクション」を柱に、組織拡大と要求実現を一体に「30万自治労連、10万非正規公共」の目標の早期達成を。「青プロ」を起点に青年のエネルギーを集結させ、自治労連の未来づくりをすすめることを確認。討論では、コロナ危機から住民を守り奮闘する組合員の姿、賃上げ・賃金改善、ケア労働者処遇改善、ほこイカアンケート・3Tアクションで仲間を増やしながら前進したと語りながら語られました。愛媛は内子町職・山中委員長「内子町での初任給改善と単組活動」愛媛県本部・堀川書記次長「青プロ四国」を発言。討論の後、運動方針・予算等が採択され、大会宣言・スローガンを確認。最後に桜井委員長が「全国の仲間、つながろう、続けよう、立ち上がろう」と団結カンパニーで締めくくりました。

【今治水道】懇談会実施し水道の技術継承へ 職場意見から人員確保の要望を



今治水道労組は9月12日、執行委員会を開催し7人が参加。学習資料として「水道事業全県一元化」「全国初の官民広域連携」の新聞記事を紹介。活動経過では、定年引上げについての人事課協議の報告があり、管理職にもよびかけて「定年引上げの制度説明会」を

9月中に計画することを確認しました。協議事項では、10月上旬に職場懇談会を実施して意見集約し、10月中に「人員要望書」を提出することを相談。参加者から「水道事業は経験の蓄積と技術の継承が大事ということをもっとアピールしよう」などの意見があり、10月執行委員会、職場から人員要望の取りまとめ、11月定期大会準備と役員改選の協議を行います。

【中予総支部】定期総会を開催。今後の日程、大会参加、総支部活動など決定



中予総支部は8月20日、定期総会を開催し、4単組4人が参加。経過報告・会計報告に続いて、自治労連本部大会・愛媛労連定期大会、四国ブロック定期大会への参加をはじめとした今後の日程について確認。続いて役員改

選を行いました。また11月に想定される市町村職員共済組合議員選挙についても、前回同様中予総支部各単組での対応、議員候補の選出などの準備を進めることといった状況の確認と意見交換を行いました。それに対応する形で、次回の中予総支部単組代表者会議を開催することを確認しました。

【青年部】県自治研「住みやすいまちづくり」を考えよう講座。愛知交流会を決定



青年部は9月11日、幹事会を開催し4単組4人が参加。新体制最初の幹事会となるため、今年度の主な活動と日程などを確認。県自治研青年講座について、全体テーマである「移住・定住・公共交通」に関連した内容で「どうしたら若い人が住みやすいか」を出しあうワークショップを行い、①自分が住みたいまちづくり、②現在から20年後のまちがどうなっているか、③①②をふまえたまとめを軸に整理してテーマとし、次回幹事会で細部確認することとしました。幹事会に続いて、愛知県本部青年部とwebでつなぎ、「愛媛と愛知の交流会」について顔合わせと意見交換会を実施。「同じ『愛』が付く愛知と愛媛で何か交流できないか」との話が出たことがきっかけとなり、10月15日に愛知との交流会を決定しました。

ジェンダー平等で誰もが輝く社会へ 話しあおう！学ぼう！つながろう



9月3〜4日「第42回自治体にはたらく女性の全国交流会inKINKI」がweb併用で開催され、全国の女性238人が参加。4日の全体会では、大阪大学・島岡まな副学長が「目に余る日本のジェンダーギャップ」意識と制度の改革でジェンダー平等に」と題した記念講演。運動交流では「職場を、いのちを、憲法を守る」各分野で報告。午後はシンポジウム「日本女性のリアル」ジェンダー問題、貧困について自治体に何を求め、求められているか」を聞き、自治体職員としてすべきこと、そして、職場の会計年度任用職員とのつながりについて考える機会となりました。

【宇和島病院】ケア処遇改善、夜勤手当改善、定年引上げなど要求意見集約



市立宇和島病院労組は9月12日、執行委員会を開催し5人が参加。佐野委員長から県本部労働学校へ参加した感想として「給料表格付やケア労働の処遇改善をすすめる必要性を感じた。秋季要求書提出にむけて要求課題を出してほしい」と話がありました。10月からの

医療従事者の処遇改善額の引き上げについて、まずは改善額を優先することとして国の制度設計通りの対象者への配分を組合も了承することを確認。夜間勤務に対する手当改善に向けては近隣自治体病院の手当額などをまとめたものを資料として改善の要求をまとめました。定年引上げに対する条例改正の進捗情報も確認し、執行委員会からも様々な意見が出されました。

労働組合のバージョンアップで 平和で公正な社会をつくらう



9月3日、愛媛労連第34回定期大会に60人が参加。経過報告では春闘期からの賃上げ・底上げのとりくみ、組織拡大、雇用と生活を守るとりくみについて報告。運動方針では今秋から年末のとりくみについて、職場で困難を抱える労働者の声を聞き、組合の仲間を迎え、一緒にたたかっ要求を

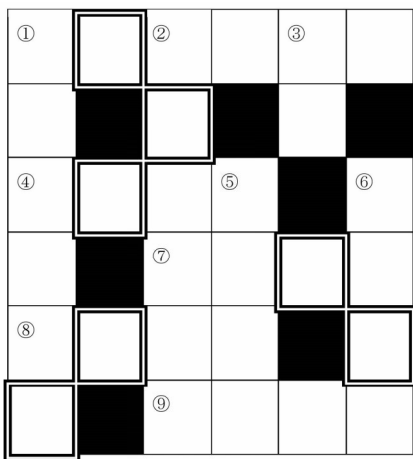
実現させる。一人ひとりの組合員が力を付け、各労働組合が今いるところからワンランクバージョンアップする活動で、賃上げを勝ち取る春闘を迎える。とりくみの全てに組織拡大を位置づけ、要求運動の中で仲間を増やしたいと思える活動を広げようという方針提起。討論では12人が発言し、運動方針などを採択。働くものの人間らしい労働と生活の実現へとりくむことを確認しました。

【ヨコのカギ】

- ① いつも来てなれ親しんでいる客
- ④ 男性を指すやや古めかしい言い方
- ⑦ 映画等で、その人物に扮して演じる人のこと。役者
- ⑧ ♪ ああ栄冠は君に〇〇〇〇
- ⑨ (テレビ番組) ボツンと〇〇〇〇家

【タテのカギ】

- ① 「鳴門地方で特産の海藻」を称して
- ② うわさなどを聞きつけるのが早い
- ③ 光陰〇〇如し
- ⑤ することがなく、時間をもてあます。〇〇〇〇しるぎ
- ⑥ 運が良いこと



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の7文字で、「世界遺産」のある像にして下さい。

■546号のパズルの答えは「シコクカルスト」(四国カルスト)でした。正解は19通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

- 越智 志珠(今治)
- 藤田千恵子(新居浜)
- 曾根 和也(内子)
- 毛利 恵美(宇和島)
- 中井由紀子(西予)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】10月27日【発表】550号(11月号)

おたより ありがとう

入学からずっと制限のあった高校生活。そんな中でもいい思い出になりますように。

(西予・中井)

■2学期が始まりました。いろいろな行事がある2学期。今年こそ、子どもたちがおもしろい楽しい活動が満載の1学期になりますように。

(伊予・上本)

■夏休み。あつという間に終わって秋に突入。台風が来ませんように！

(内子・宮田)

■夏休みが終わればすぐに運動会。息子は高校最後の運動会。コロナ禍で

後々の運動会。コロナ禍で

と自分の転職が重なり、慌ただしい毎日、親子共々少しづつ新生活に慣れてきたところに、夏休

(西予・山里)